



2013年2月6日  
スカパーJSAT 株式会社

## コンピュータウイルス感染の発生、 及び情報漏えいの可能性について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）において、社内のサーバ及びPC 端末 17 台がコンピュータウイルスに感染し、以下の情報が外部に漏えいした可能性があることが2月5日(火)に判明いたしました。

現在、漏えいした可能性のある情報内容の特定及び原因究明に取り組んでおります。

### 1. 漏えいした可能性のある情報について

宇宙・衛星事業関連の営業情報(取引先の一部会社名、担当者個人情報を含む)及び関連する技術情報

尚、有料多チャンネル事業に関する個人情報の漏えいはありません。

### 2. 経緯および状況について

複数のサーバにてCPUが高負荷になるアラートが発生したため、詳細を調査した結果、新種のコンピュータウイルスに感染したことが2月5日(火)に判明いたしました。

直ちに感染したPCをネットワークから切り離し、サーバに対するアクセス制限を実施した上、現在、感染経路や時期及び影響範囲について緊急調査を実施中です。

### 3. 今後の対応について

この度の事案を重く受け止め、引続き緊急調査を進め、再発防止に向けてより一層の情報セキュリティ強化に取り組んでまいります。

このような事態が発生し、取引先各社及び関係者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけいたしますこと深くお詫び申し上げます。今後、同様の事態を再発させないよう努めてまいります。

以上